

これから流行する病気について



ほげんだより

令和2年11月 虹のこころ保育園



一段と日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みが晩秋の訪れを感じさせてくれます。衣服をこまめに調整しながら、これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいきたいと思えます。

秋冬のスキンケア3か条

秋冬の乾燥した空気はデリケートな子供の肌には大敵です。放っておくとかさつき、痒みがでてきてしまいます。丁寧なケアをしてあげてください。



1.清潔を保つ

顔に汚れなどが付いていたらきれいに拭いてください。
お風呂では擦らず石鹸を泡立てて優しく洗いましょう。



2.刺激を少なくする

直接肌に触れる衣類は綿素材がおすす
めです。合成繊維は皮膚に刺激を
与え痒みがでたり、ヒートテックは吸
水性が悪く、体温が上がりやすい為
子供には不向きです。

3.たっぷり保湿

保湿剤はお風呂上りに必ず塗りまし
ょう。
肌に湿り気があるうちに使うと角質
層に水分を閉じ込められるので効
果的です。

11月のほげん行事

- 頭髪検査 2日 16日
- 身体測定 幼児 11日 乳児 18日
- 内科健診 4日(全園児) 9時～

※内科健診の日は、なるべく登園して下さるようお願い致します。
健診や測定などの結果は、後日すくすくカードにてお知らせします。

<～インフルエンザ～>

インフルエンザは、38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など、全身症状が突然現れます。風邪は、喉の痛み、鼻水、くしゃみ、咳などの症状が中心で、全身症状はあまりみられません。突然の高熱・全身症状などが出たら、早めの受診をお願いします。

※潜伏期間:2～3日程度(潜伏期間が短いのが特徴だと言われています。)

<～嘔吐下痢症～>

これから、嘔吐や下痢をともなう風邪の流行時期に入ります。突然の嘔吐から始まり、その後水溶性の下痢がでます。嘔吐や下痢を主な症状とする『おなかの風邪』は、いわゆる感染性胃腸炎のことです。ウイルス性胃腸炎(おなかのかぜ)、ノロウイルスによる胃腸炎、ロタウイルスによる胃腸炎(乳児嘔吐下痢症といわれ白っぽい下痢便が特徴)があります。感染力が強いため、下痢をしたときはただの下痢と思わず、早めの受診をして十分な休養をとることが大切です。原因となるウイルスは、数多くあり、感染力が強く、家族・兄弟間で移ってしまうことが多くあります。



<～感染予防のお願い～>

集団で生活をする保育園で、嘔吐や下痢があった場合、早めの受診をお願いしたり、汚染衣類を洗わずに返却させていただいたりすることがあります。また、ご兄弟(姉妹)が感染した場合、そのご兄弟(姉妹)も感染している可能性があると考え、家庭保育のご協力をお願いしております。また、保育園は集団生活となりますので、嘔吐や下痢が出た場合、いつもどおりの食欲があり普段の便が確認されるまで、登園はできません。

*胃腸炎と診断された場合は、登園許証明書の提出をお願いいたします。

保護者のみなさまに、感染拡大防止のご理解とご協力をお願いします。

～お知らせ～

○体に貼る薬を使用している場合

気管支拡張剤などの体に貼るタイプの薬を使用している場合は、薬に名前を書き、体に貼付している事を担任に知らせて下さい。

○前日に38度以上の発熱がみられた時は、お子さんの抵抗力がおちて、体の負担となります。解熱剤を使用せず、丸一日は平熱で過ごせたことを確認してからの登園をお願いします。